

平成24年度第1回 岐阜県青少年育成審議会 議事録

日 時	平成24年6月7日（木） 10:00～11:30
場 所	岐阜県庁 議会西棟3階 第1会議室
出席者	<p><委員> 15名（欠席委員5名） 岩田会長、浅野（教）委員、白井委員、玉腰委員、平田委員、藤村委員、松岡委員、川田委員、浅野（隆）委員、磯谷委員、若井委員、和田委員、大池委員、小木曾委員、古野委員</p> <p><県> 7名 水谷環境生活部次長（男女共同参画・少子化対策担当）、田口男女参画青少年課長 籠橋男女参画青少年課総括管理監、那須学校支援課課長補佐 男女参画青少年課職員3名</p>

会議の概要		
1	開会	
2	環境生活部次長（男女共同参画・少子化対策担当）あいさつ	
3	条例等の規定に基づく報告事項	
	(1) 有害興行の緊急指定について	
	(2) 優良興業の推奨及び有害図書類の指定について	資料に基づき、報告された。
4	その他報告事項	
	(1) 第2次岐阜県青少年健全育成計画に係る関連事業および数値目標進捗状況について	
	(2) 青少年の携帯電話・インターネット利用に関するアンケート調査について	(1) (2) について、資料に基づき、事務局から説明された。
5	意見交換	
6	閉会	
議事の概要		
進行次第	発言者	発 言
意見交換	岩田会長	<p>当審議会では有害興行や有害図書の審議など、当然行っていくべきだが、せっかくの審議会でもあり、よい事例を積極的に皆様から届けてもらい、この場でなくてもよいので、事務局に随時寄せてほしい。</p> <p>例えば青少年関連の事業についてであるが、昨年、「少年の主張岐阜県大会」が高山市であり、岐阜県の出場者16人の意見をすべて聞いてきた。どの生徒も身近な話題を取り上げ、ボランティアなど実体験に基づいた主張で課題意識が明確で感銘した。岐阜県で最優秀を取った子が、全国で12人しか出られない大会に選抜されたと聞く。今年も育成事業に含まれているので応援</p>

		<p>していきたい。</p> <p>青少年育成計画に係る事業等は、多岐に渡っており、各委員ご自分にかかわりのある事業について意見をたまわりたい。私自身は、事業の推進に当たっては事業担当課のみではなく他課との連携を密にし、取り組んでほしいと考えている。</p> <p>また、目標数値の障害者法定雇用率については、出典の数値の取り方が変わったのであれば、備考欄に書くよう改めてほしい。</p>
	臼井委員	<p>就農支援や私立高校の修学補助金の予算の数字が大幅に変動している。この理由は何か。</p>
	男女参画青少年課長	<p>理由については、後日報告させていただく。</p>
	臼井委員	<p>現在、スマートフォン（以下スマホと略す）が普及している。スマホのアプリの中にはダウンロードすると、ユーザーの個人情報を読み取るようなものもある。情報セキュリティの観点から県も国も、大変であるが技術の進歩に対応していく必要がある。日々、新たなウイルスなどが発生している現状下、対策が後手後手に回らないようお願いしたい。</p>
	和田委員	<p>数年前、不適切な写真を携帯のメールで中学生が仲間内に回すという事件があった。携帯を学校に持ち込むことは禁止されており、帰宅後に起こった事件と聞いている。その後、メールを回した中学生もまたネットの掲示板上で攻撃された。このように学校では対応が難しい事件が起こっており、またいつ起きても不思議ではない。子どもたちに携帯を使う上でのマナーについても教えているがなんとか地域の力などで助けていただきたい。</p>
	大池委員	<p>中学校の現場ではどのように指導しているのか</p>
	和田委員	<p>学校現場としては「持ってこない」、「持たせない」と指導しているが、家庭の事情で持たせてほしいなど要望もあるところ。そのような場合も学校で預かり、帰宅時に渡す対応をしている。</p>
	大池委員	<p>自分の経験だが、子供の学校では学校にも持ち込ませないし、家庭でも携帯を持たせないようにと入学時に指導された。もっと学校で強力で指導していくことはできないか。</p>
	和田委員	<p>指導はしているが、親の判断があり家庭にまで及ばない。塾の往復で心配なため持たせるなど、中学生で30%前後の生徒が携帯を持っているのが現状である。</p>
	若井委員	<p>「ネット安全・安心コンソーシアム」事業では、「持たせる」「持たせない」より、フィルタリングソフトの導入が議論の中心になっている。リーフレットを配布し啓発しているが、外国人生徒が増加していることから、ポルトガル語や中国語版などでも作成する必要がある。加えてインターネットのページから読むことができるなど周知してほしい。また昨年開催された「ネット安全・安心ぎふフォーラム」は参加者が非常に少なかったため、もっと事業についてPRすべきである。</p>

	<p>臼井委員</p>	<p>学校から帰ってからの心配という話であったが、通話やメールだけの機能ということならPHSを勧めてもらえば非常に安価に済むばかりか、スマホのアプリのような問題も起こらないのではないか。そういうものを勧める検討をされてはいかがか。</p>
	<p>岩田会長</p>	<p>臼井委員のような情報提供を皆様にぜひお願いしたい。昔TVを見ないように学校から言ってくれという時代があった。今は携帯についてだが、学校では不要としていくべきで、それでも敢えて持たせるなら家庭で親が責任を持つべき。その点を社会常識として徹底すべきである。やや過激かもしれないがあえてそう申し上げたい。事件が起きてからさあ大変だ、と学校や警察に持ち込むのではなく、各家庭での自覚を促したい。</p>